

富山県 山のグレーディング

	A	B	C	D	E	
★					59 縦 後立山縦走(水晶小屋・白馬山荘)★	
10		37 周 雲ノ平→三俣蓮華岳(折立) 50 縦 雪倉岳→朝日岳→ 桐海新道(桐池自然園・親不知海岸)※3	36 縦 北ノ俣岳【上ノ岳】→ 水晶岳(折立・黒部湖駅)＜読売新道＞ 32 縦 桐海新道→朝日岳 (親不知海岸・北又小屋)＜上り＞※3	14 縦 池ノ平山(樺平駅・室堂ターミナル) ＜裏鏡→鏡沢＞ 15 縦 池ノ平山(室堂ターミナル・樺平駅) ＜鏡沢→裏鏡＞		
9			51 縦 朝日岳→桐海新道 (北又小屋・親不知海岸)＜下り＞※3 38 周 雲ノ平→高天原温泉(折立) 32 縦 薬師岳→龍王岳(折立・室堂ターミナル)			
8		45 周 白馬岳→朝日岳(蓮華温泉)	46 縦 白馬岳→朝日岳(猿倉・蓮華温泉) 31 縦 龍王岳→薬師岳(室堂ターミナル・折立)			
7		47 周 朝日岳→雪倉岳(蓮華温泉)＜鉱山道＞ 35 北ノ俣岳【上ノ岳】・黒部五郎岳(折立) 49 朝日岳(蓮華温泉)＜朝日小屋＞	40 縦 針ノ木岳(黒部湖駅・扇沢駅)＜針ノ木谷＞		16 縦 下ノ廊下(樺平駅・黒部湖駅) 12 縦 鏡岳→前鏡(馬場島・室堂ターミナル)	
6			44 縦 白馬岳(祖母谷温泉・猿倉) 42 縦 唐松岳(祖母谷温泉・八方池山荘) 92 縦 大門山→大笠山(ブナオ峠・桂湖駐車場)※2 22 縦 大日岳→奥大日岳 (称名駐車場・室堂ターミナル)	41 縦 船窪岳(黒部湖駅・七倉山荘)＜針ノ木谷＞ 18 縦 内蔵助平(黒部湖駅・室堂ターミナル) ＜ハシゴ谷乗越＞	10 縦 鏡岳(馬場島)＜早月尾根＞ 15 縦 下ノ廊下(黒部湖駅・樺平駅)	
5		34 薬師岳(折立) 25 大日岳(称名駐車場)	6 縦 歩くアルペンルート (立山駅・室堂ターミナル)＜上り＞ 48 朝日岳(北又小屋) 20 縦 内蔵助平(黒部湖駅・室堂ターミナル) ＜内蔵助水河＞ 26 毛勝山(阿部木谷出合)＜西北尾根＞※1 43 縦 唐松岳(八方池山荘・祖母谷温泉) 25 猫又山(馬場島)＜ブナクラ谷＞※1 33 縦 五色ヶ原(室堂ターミナル・黒部湖駅) 24 赤谷山(馬場島)＜ブナクラ谷＞※1 70 周 瀬戸蔵山→鏡崎山(粟巣野スキー場)※1	17 縦 内蔵助平(室堂ターミナル・黒部湖駅) ＜ハシゴ谷乗越＞	9 縦 鏡岳(室堂ターミナル)＜別山尾根＞ 11 縦 前鏡→鏡岳(室堂ターミナル・馬場島)	
4		50 大門山・奈良岳(ブナオ峠)※1 52 駒ヶ岳(烏帽子尾根登山口)	51 大笠山(桂湖駐車場)※2 27 大猫山(馬場島)※1 19 縦 内蔵助平(室堂ターミナル・黒部湖駅) ＜内蔵助水河＞ 21 縦 奥大日岳→大日岳 (室堂ターミナル・称名駐車場)			
3	59 医王山(祖谷口)	60 僧ヶ岳(宇奈月尾根登山口) 5 縦 黒部ダム→室堂 (黒部湖駅・室堂ターミナル)＜ノ越＞ 2 周 雄山→別山(室堂ターミナル) 68 人形山(中根平) 28 大熊山(小又川出合) 90 金剛堂山(板谷登山口) 56 黒菱山(上笹川橋) 54 大地山(夢創塾) 3 周 雄山→真砂岳(室堂ターミナル)＜大走り下山＞ 72 高頭山(発電所) 55 大鷲山(境橋) 65 大倉山(桑首谷登山口) 75 唐堀山(飛越橋) 78 白木峰・小白木峰(駐車場) 59 鏡ヶ岳・烏帽子山(嘉例沢)	61 僧ヶ岳(阿部木谷出合(東又)) 30 クズバ山(馬場島) 7 歩くアルペンルート (室堂ターミナル・立山駅)＜下り＞ 71 鉢伏山(フロヤ谷登山口)			
2	76 小佐波御前山(風の城) 85 高坪山(宮谷尾根登山口) 参考 高尾山(表参道) 81 八乙女山(閑乗寺公園) 73 六谷山(茂住峠) 65 周 城ヶ平山(大岩)	74 キラズ山(作業道入口) 53 白鳥山(坂田峠) 87 赤祖父山(丸山展望台入口) 87 猿ヶ山(ブナオ峠) 4 縦 室堂→黒部ダム (室堂ターミナル・黒部湖駅)＜ノ越＞ 79 周 牛岳(小牧側登山口) 1 雄山(室堂ターミナル) 67 大辻山(長尾峠) 84 高落場山(若杉集落跡) 8 周 浄土山→龍王岳(室堂ターミナル) 29 周 中山(馬場島橋) 85 高清水山(縄ヶ池駐車場) 64 濁谷山(杉林伐採広場) 58 負釣山(オコ谷峠) 68 周 来拝山(来拝キャンプ場)				
1	77 夫婦山(小井波) 参考 高尾山(琵琶滝) 69 尖山(横江駅) 86 袴腰山(峰越登山口) 57 南保富士(三峯) 66 高峰山(西穂)					

[凡 例]

1～38: 立山連峰及び周辺山域
39～53: 後立山連峰及び周辺山域
54～78: 県東部～中央部
79～92: 県西部

※数字は「富山県 山のグレーディング」の番号

- () : 登山口
- <> : 山名と登山口だけでは経路が特定できない場合の経由地等
- 縦 : 入山口と下山口が異なる縦走ルート
- 周 : 入山口と下山口は同じだが、途中の経路が異なる周回コース
- : 縦走・周回の順

★39 後立山連峰縦走

	C	D	E
4		②烏帽子岳・船窪岳 (烏帽子小屋・船窪小屋)	⑦唐松岳・杵子岳 (唐松岳頂上山荘・白馬山荘)
3	③七倉岳・蓮華岳 (船窪小屋・針ノ木小屋) ④針ノ木岳・岩小沢岳 (針ノ木小屋・種池山荘)	⑤鏡ヶ岳・鹿島槍ヶ岳 (種池山荘・キレット小屋) ⑥五竜岳 (キレット小屋・唐松岳頂上山荘)	
2	①野口五郎岳 (水晶小屋・烏帽子小屋)		

「39 後立山連峰縦走」は水晶小屋から白馬山荘までの長大なルートであり、各山小屋を起点にして1～数日で行動できる区間(①～⑦)に細分してあります。また、稜線上のルートであるため、登山口・下山口を設定していません。グレーディングが設定された周辺のルートと接続する等して、ご利用ください。

< 室堂から入山する場合の注意事項 >

- 室堂は、交通機関で容易にアクセスできますが、標高2,450mの高山帯に位置します。
- 十分な高度順化をしないまま登山を開始することは、高山病や脱水症状などの原因となります。
- 高山帯である室堂から出発する各登山ルートは、体力度の数値以上に、体に負担がかかります。
- 少しでも体調不良を感じた場合は、速やかに引き返すなど、余裕を持った行動を心がけてください。

※1 このルートは体力度4以上(1泊以上が適当)だが、途中で宿泊施設・テント場がないので、登山者によっては日没までに下山できない恐れがあります。

※2 このルートは体力度4以上(1泊以上が適当)だが、途中で避難小屋しかないため、宿泊の準備が必要です。

※3 このルートは体力度9以上(2～3泊以上が適当)だが、桐海新道(朝日小屋から親不知海岸の間)には無人小屋しかないため、宿泊の準備が必要です。

技術的難易度 右になるほど難易度が増す

登山道	技術・能力
<ul style="list-style-type: none"> 概ね整備済み 転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い 道迷いの心配は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 沢、崖、場所により雪渓等を通過 急な登下降がある 道が分りにくいところがある 転んだ場合に、転落・滑落事故につながる場所がある
<ul style="list-style-type: none"> 登山の装備が必要 <p>[用語説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図読み能力 「地図を見て自分の位置を知ることができ、目的地へのルートを選択できる能力」 ○ルートファインディング 「登山道についていないところ、また分りにくいところで、一番安全に通過できるルートを選択すること」 ○藪漕ぎ 「笹や低木などが密生する藪を手をかき分けながら進むこと」 	<ul style="list-style-type: none"> 登山経験が必要 地図読み能力があることが望ましい
	<ul style="list-style-type: none"> ハシゴ・鎖場、また、場所により雪渓や徒渉箇所がある ミスをするとな転落・滑落などの事故になる場所がある 案内標識が不十分な箇所も含まれる
	<ul style="list-style-type: none"> 険しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・鎖場、藪漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や徒渉箇所がある 手を使う急な登下降がある ハシゴ・鎖場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い
	<ul style="list-style-type: none"> 緊張を強いられる険しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する 深い藪漕ぎを必要とする箇所が連続する場所がある
	<ul style="list-style-type: none"> 地図読み能力、岩場・雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要 登山者によっては、ロープを使わないと危険な場所もある

< 使用上の注意 >

- この表は、無雪期・天気良好という条件下での、ルート固有の地形的な特徴について、体力度と技術的難易度を評価したものです。実際の登山では、体力度と技術的難易度以外に、悪天候・残雪・体調不良・準備不足、その他偶発的な要因による様々なリスクがあるので、それらに配慮した登山計画を立てることが必要です。
- この表に記載した登山ルートは、富山県内(一部県外ルート含む)で比較的登山者が多いものから選定しました。国土地理院地図に未記載の登山道や公的な管理がされていない登山道を含んでおり、全ての登山ルートについて、通行や登山の安全を保障するものではありません。また、グレーディング対象ルートでの事故について、一切の責任は負いかねます。
- コースタイムに休憩時間は含まれません。また、一般的な登山ルートにあたらぬ、特に条件の厳しい登山ルートは評価の対象外としました。【例】鏡岳北方稜線、長次郎谷、平蔵谷
- 登山道の状況は、年や季節によって大きく変化します。特に鏡沢をはじめとするシーズン後半まで残る大規模な雪渓は、表面の凍結やクレバス※、シュルンド※、スノーブリッジ崩落など、変化が激しく、致命的な事故の原因となります。登山前に周辺の山小屋や警察などに、ルートの状況を確認してください。
※クレバス: 雪渓表面の割れ目。深さ数十メートルに達することもある シュルンド: 雪渓と側壁の間のできる隙間
- 日ごろから体力・登山技術のトレーニングを行い、登山に際しては、事前に登りたい山の下調べ、登山計画立案、登山届提出等の準備をしっかりと行った上で、安全を最優先し、状況に応じて登山の中止や引き返すことを念頭に置いて行動してください。
- 民有地での無許可駐車や路上駐車は、絶対にしないでください。